

千光寺の奥に近づき感激・感動 掃除で心地よい汗

夏のカイニヨ倶楽部の例会を8月30日、古刹千光寺（砺波市芹谷）で——
樹叢と建造物の見学・勉強・境内の掃除を行いました。

早朝まで大雨で、出がけの頃は、肌寒さの感じられる不安定な日でしたが、23名が参加。約1時間、1.7ヘクタールの境内の掃除で汗をかき、後の2時間は、歴史の深い建物や仏室にふれ、心地よい機会を得ました。

千光寺住職は、快く寺内を案内され、倶楽部のわずかな掃除手伝いにねぎらいの言葉をくださり、一同恐縮しながら、楽しい思いでのひとときとして、互いの胸におさめることができました。



(山門近くの掃除)



(本堂で住職のお話)



(参道から山門・観音堂の説明を聞く)

千光寺住職のあいさつ

1. 7ヘクタールの境内の掃除は大変ですが、この樹木を大事につきあって行きたい。スギ・モミ・コウヨウザンに加え、コウヤマキも入っている。シキミも仏花としている。今年は、開山1,300年目で、カイニヨ倶楽部の手伝いをいただいたことも一つの節目の御縁だ。いつでも立ち寄ってほしい。

名越仁功さん（千光寺文化財を守る会・会長）のあいさつ

カイニヨ倶楽部の皆様の思いや協力に感謝し、大いに、その甲斐性を発揮してほしい。この寺の山門では、横の壁に白い5本線が入っているが、歴史の古さと期待の印だ。これからも市民の財産として守っていきたい。

尾田武雄さん（会員）が住職と一緒に、寺の参道から石垣、山門、観音堂、本堂、書院、蔵の鏝絵等を案内——

山門の仏像にふれたり、奥書院を見せてもらったり、とても普段はふれることのできない所を案内して下さり、特別の配慮に一同、感激・感動

柏樹代表幹事は、千光寺の樹叢の特徴を話し（別項）、和田健さんが樹種の組み合わせ等で説明。昼近くには、少し夏に戻ったのか、すっかり蝉しぐれの中に包まれました。

案 内

- 自然観照—加藤良成の全て展（織物、写真、陶芸等）
日時：平成15年9月13日～21日（AM11～PM5）
場所：富山市城山、テレビの塔横「バルト」
- 女声合唱団「コール麗」演奏会
日時：平成15年9月20日（PM4～）
場所：砺波市文化会館大ホール 入場料：1000円

柏樹代表の樹叢説明の要旨

- 寺院の重み、深さは、伽藍をつつむ樹叢の厚さや樹齢の深さに関係する。木は人間の及ばない生命力と躍動感を持つ——千光寺の樹齢は、300年~400年のものが多い。
- 樹種の組合せで、おもむきが相当違う。針葉樹中心の樹叢は、暗く湿潤だが、奥床しさがある。ここの樹叢は、スギを中心にモミ、コウヨウザンで作られている。
- スギが屋敷林の主木になっているが、これほど柔軟性のある樹種はない。スギの生き方を見ていると「ゆずりあい」「忍耐性」「責任感」を時と場を考え、自由に発揮している。
- 風景と歴史は、人間がねばりづよく、木と付き合い作り上げ、「つむいで」いくものだ。時代につなぐ風景をつくるのが、今の人間のロマンのある仕事だ——カイニヨを育て一緒に生きる人間になろう

カイニヨ倶楽部の活動が新聞に載りました！

- 富山新聞（平成15年8月30日）（北日本新聞にも掲載されました。）



見事な樹叢を見学する砺波カイニヨ倶楽部会員
—砺波市の千光寺

「落ち葉の掃除に労力がいるが、木を守り、自然と共生しなければならぬ」と強調した。参道から市指定文化財の観音堂まで歩き、会員の尾田武雄さんは、二層の山門（市指定文化財）や、山門の扉から望む観音堂の威容、真言宗寺院の伽藍について説明し、「構造物や樹叢も含めて全体が歴史博物館の価値がある」と述べた。安念道雄住職は寺と景観を守っていく決意を示し、創建千三百年に合わせ設立した「千光寺の文化財を守る会」の名越仁功会長も文化財の保存・活用へ意欲を示した。

砺波カイニヨ倶楽部は、うっそうとした樹高三十メートル以上の針葉樹約三百本の千光寺で樹叢や数々の文化財を見学し、境内の掃除もして歴史遺産に理解と愛着を深めた。会員二十人が参加し、説明した。柏樹会長は、

砺波カイニヨ倶楽部 千光寺で見学や清掃

文化財に理解と愛着

参加会員の意見や感想

- ◆ ツガも入っているし、スギ高木の下に中低木の入っている組み合わせがよい。
- ◆ 1. 7ヘクタールもある境内の掃除を黙々と続けられることに感銘した。狭い屋敷内の掃除を「ひどい」と言っている人の気がしれん。見習い研修に来てもらわんといかん。
- ◆ 境内の石垣は、小さい石を使い、大変工夫した積み方がされており、感動した。
- ◆ 山門と蔵、塀のすぐ横に300年くらいのスギが共にゆずりあって立ち上がっている。大いに参考になる形だ。
- ◆ 境内に墓があるが、仏花はスギやコウヤマキ等の葉をあげればよい。
- ◆ 案内していただき、はじめて知ることばかり。寺の歴史と自然に大変近づけたような気がした。
- ◆ 風が吹いたら、春先の掃除は大変だろう。
- ◆ 会費500円出して掃除の奉仕をするのも楽しく、心が安まるという感じになった。賽銭もいつの間にかはずんできた。
- ◆ 普段見せてもらえない山門の2階や書院を案内してもらい、大変驚いた。よい機会になった。

次回例会のお知らせ

- 日時：平成15年10月4日（土）午前9時~12時 小雨決行
場所：砺波市鹿島（スーパー農道 鹿島信号南側）
① 鹿島神明社社叢
② 宮崎保治氏宅 屋敷
集合は、宮崎保治氏宅前
テーマ：庄川の扇状部に位置する重みのある神社のスギ樹叢にひたり、庭と若齢屋敷林の今の姿に触れる。
樹木の知恵と忍耐に学び、人間はどんな付き合いをするか、考え合う。
会費：1人500円（子ども無料）

防除のお知らせ

今年は、雨が多いために、屋敷林の葉が黒くなるスス病が非常に発生しています。カイガラ虫と共生した病気であり、二つを駆除する消毒が急がれます。